

記載例（有害物質使用特定施設）

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ 設置 ~~（使用、変更）~~ 届出書

平成28年4月1日

設置(新規に設置する場合)、使用(水質汚濁防止法の届出対象外施設が政令等の改正により届出対象施設となった場合)、設置変更(既設置施設の構造が変更となった場合)の別を明確にすること。

〇〇広域振興局長 様

届出者 **盛岡市内丸10-1
株式会社 岩手県
代表取締役 岩手 太郎 印**

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

特定施設を設置する工場・事業場を記入すること。

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項、第3項~~（~~第6条第1項又は第2項、第7条~~）の規定により、特定施設 ~~（有害物質貯蔵指定施設）~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(株) 岩手県 岩手工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		盛岡市内丸10-10	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。		
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
第5条第2項関係	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。			

施行令別表第一の特定施設番号について、特定施設が複数の場合、漏れなく記入すること。
構造・使用方法を変更するときは該当特定施設番号を記入すること。
他の変更事項の場合は、全施設の番号を記入すること。

総量規制指定地域の場合
(岩手県該当なし)

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 9 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

特定施設の構造

複数施設を設置する場合、必ず記載すること。

工場又は事業場における施設番号	NO. 1	NO. 2
特定施設号番号及び名称	65 酸洗槽	65 脱脂槽
型式	連続式	連続式
構造	鋼板製	鋼板製
主要寸法	1,000×1,500×900 (単位mm)	1,200×1,300×900 (単位mm)
能力	30m ³ /日	30m ³ /日
配置	別添図のとおり	別添図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成28年7月1日	平成28年7月1日
工事完成予定年月日	平成28年8月1日	平成28年8月1日
使用開始予定年月日	平成28年8月30日	平成28年8月30日
その他参考となるべき事項	床面：コンクリート（厚さ100mm）及び樹脂コーティング 周囲：防液堤 （コンクリート（厚さ100mm）及び樹脂コーティング、容量3.2m ³ ）	床面：コンクリート（厚さ100mm）及び樹脂コーティング 周囲：防液堤 （コンクリート（厚さ100mm）及び樹脂コーティング、容量3.2m ³ ）

法第6条の使用届の場合のみ記入

工事着手・完成・使用開始予定年月日は、設置届出・設置変更届出書について記載

備考 1 配置

当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載

当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載する

設が有害物質使用特定施設に該当すること。

特定施設の設備

有害物質使用特定施設に該当する場合、構造基準チェック表も併せて作成すること。

工場又は事業場における施設番号	NO. 1	NO. 2
特定施設番号及び名称	65 酸洗槽	65 脱脂槽
設備	地上配管、排水溝、ためます	地上配管、排水溝
構造	配管 ステンレス製 排水溝、ためます コンクリート製、厚さ50mm	配管 ステンレス製 排水溝 コンクリート製、厚さ50mm
主要寸法	配管 直径100mm×30m 排水溝 幅300mm×深さ200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm	配管 直径100mm×30m 排水溝 幅300mm×深さ20mm×3m
配置	めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)	めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)
設置年月日	年月日	年月日
工事着手予定年月日	平成28年7月1日	平成28年7月1日
工事完成予定年月日	平成28年8月1日	平成28年8月1日
使用開始予定年月日	平成28年8月30日	平成28年8月30日
その他参考となるべき事項	<p>配管については、地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記載すること</p>	

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること
「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。
有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないため、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。

複数施設を設置する場合、図に施設番号を明示すること。

特定施設の使用の方

工場又は事業場における施設番号		NO. 1		NO. 2	
特定施設号番号及び名称		65 酸洗槽		65 脱脂槽	
設置場所		別添図のとおり		別添図のとおり	
操業の系統		別添図のとおり		別添図のとおり	
使用時間間隔		8:00~18:00		8:00~18:00	
1日当たりの使用時間		10時間		10時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		硫酸500kg		水酸化ナトリウム250kg	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	2.5~4.0	2.5~4.0	10.5~11.3	10.5~11.3
	BOD	15	20	10	20
	SS	150	200	200	400
	Cu	30	50	30	50
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		15	30	15	30
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状況の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		NO. 1 (工程排水処理施設)				NO. 2 (生活排水処理施設)			
処理施設の設置場所		別添図のとおり				別添図のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		平成28年7月1日				平成28年7月1日			
工事完成予定年月日		平成28年8月1日				平成28年8月1日			
使用開始予定年月日		平成28年8月30日				平成28年8月30日			
種類及び型式		自動式				合併浄化槽(150人槽)			
構造		鋼板製(一部コンクリート製)				FRP製			
主要寸法		別添図のとおり				別添図のとおり			
能力		60m ³ /日				30m ³ /日			
処理の方式		中和+凝集沈殿+砂ろ過				流調接触ばっ気			
処理の系統		別添図のとおり				別添図のとおり			
集水及び導水の方法		別添図のとおり				別添図のとおり			
使用時間間隔		連続				連続			
1日当たりの使用時間		12時間				24時間			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		水酸化ナトリウム 6kg PAC 10kg				次亜塩素酸カルシウム0.5kg			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4.0	6~8	4.0	6~8	5~9	6~8	5~9	6~8
	BOD	15	8	20	10	200	5	200	20
	SS	200	8	300	10	100	8	150	20
	Cu	30	不検出	50	1				
	大腸菌群数	<30	<30	<30	<30	1000	<30	3000	50
量(m ³ /日)	30	30	60	60	30	30	30	30	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥(脱水)1.0t/月 収集運搬処分を○×処理業(株)に委託				汚泥0.1t/月 ○△清掃社に委託			
排出水の排出方法		別添図のとおり				別添図のとおり			
その他参考となるべき事項		排出水の排出先 側溝→○○水路→北上川				同左			

備考 1 汚水等の汚染状況の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口 1		排水口 2	
		通常	最大	通常	最大
排水水の汚染状態	種類・項目				
	pH	6~8	6~8	6~8	6~8
	BOD	8	10	5	20
	SS	8	10	8	20
	Cu	不検出	1		
	大腸菌群数	<30	<30	<30	50
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		30	60	30	30
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)			汚濁負荷量 (kg/日)		※		
		通常	最大	通常	最大	Q _δ	Q _i	Q _j		通常	最大
	合計										
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

岩手県では提出不要

備考 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、化学的酸素要求量について記載すること。
 2 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	<pre> graph TD A[上水道] --> B[金属表面处理 (酸洗浄) (脱脂)] A --> C[生活排水 (合併浄化槽)] B --> D[排水口1] C --> E[排水口2] </pre>		
	用途別 用水使用量	用途	使用水
	製品処理洗淨水	上水道	30
	生活系用水	上水道	30